

松監事一第18号  
令和2年8月21日

松本市本郷財産区  
管理者 松本市長 臥雲 義尚 様

松本市監査委員 太 田 由 夫  
同 竹 本 祐 子  
同 中 島 昌 子

令和元年度松本市本郷財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和元年度松本市本郷財産区特別会計歳入歳出決算とその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

# 令和元年度松本市本郷財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

## 第1 審査の対象

令和元年度松本市本郷財産区特別会計歳入歳出決算

## 第2 審査の期間

令和2年6月2日から令和2年8月3日まで

## 第3 審査の方法

地方自治法第296条の5第1項の規定により財産区運営の基本原則に基づき、予算の執行状況、会計処理の適否、計数の正否、財産の管理状況等について検証するとともに、担当職員から説明を聴取し、審査を実施しました。

## 第4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも法令の規定に準拠して作成されており、記載数値については、関係諸帳簿及び証書類と照合の結果、いずれも符合し、正確であると認められました。

なお、決算の概要及びこれらに対する意見については、次に述べるとおりです。

### 1 決算の概要

#### (1) 総括

予算現額1,319万円（前年度対比128万円、8.8%減）に対し、歳入の決算額は1,315万5,065円（前年度対比127万407円、8.8%減）、歳出の決算額は997万6,177円（前年度対比50万9,453円、4.9%減）で、形式収支は317万8,888円（前年度対比76万954円、19.3%減）となっています。

なお、翌年度へ繰り越すべき財源はありませんので、実質収支も形式収支と同額の317万8,888円の黒字決算となっています。

決 算 収 支

(単位：円、%)

区 分 \ 年 度	元 年 度 (a)	30 年 度 (b)	比 較 増 減 (c)=(a)-(b)	増 減 率 (c)/(b)
予 算 現 額	13,190,000	14,470,000	△1,280,000	△8.8
歳 入 決 算 額	13,155,065	14,425,472	△1,270,407	△8.8
歳 出 決 算 額	9,976,177	10,485,630	△509,453	△4.9
歳入歳出差引額(形式収支)	3,178,888	3,939,842	△760,954	△19.3
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	—
実 質 収 支	3,178,888	3,939,842	△760,954	△19.3

(2) 歳入

収入率は、予算対比 99.7%、調定対比 100.0%で、歳入の主なものは、財産貸付収入 257 万 1,511 円、県補助金 221 万 600 円、一般会計繰入金(市からの補助金) 161 万 100 円、基金繰入金 150 万円です。

決算額は、前年度と比較して 127 万 407 円(8.8%)減少しています。

これは、基金繰入金が減少したことなどによるものです。

歳 入 状 況

(単位：円、%)

区 分 款 別	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 率		収 入 済 額 構 成 比
				予 算 対 比	調 定 対 比	
県支出金	2,230,000	2,210,600	2,210,600	99.1	100.0	16.8
財産収入	2,940,000	2,940,936	2,940,936	100.0	100.0	22.4
繰入金	3,120,000	3,110,100	3,110,100	99.7	100.0	23.6
繰越金	3,930,000	3,939,842	3,939,842	100.3	100.0	29.9
諸収入	970,000	953,587	953,587	98.3	100.0	7.2
歳入合計	13,190,000	13,155,065	13,155,065	99.7	100.0	100.0
30年度	14,470,000	14,425,472	14,425,472	99.7	100.0	—
比較増減	△1,280,000	△1,270,407	△1,270,407	—	—	—
増減率	△8.8	△8.8	△8.8	—	—	—

### (3) 歳出

執行率は、75.6%で、歳出の主なものは、農林水産業費の委託料 423万7,896円、総務費の財政調整積立基金積立金 215万3,346円、工事請負費 80万3,520円です。

決算額は、前年度と比較して 50万9,453円（4.9%）の減少となっています。これは、農林水産業費の工事請負費が減少したことなどによるものです。

#### 歳 出 状 況

(単位：円、%)

区分 款別	予算現額	支出済額	不用額	執行率	支出済額 構成比
議会費	930,000	919,438	10,562	98.9	9.2
総務費	2,360,000	2,290,226	69,774	97.0	23.0
農林水産業費	6,840,000	6,766,513	73,487	98.9	67.8
予備費	3,060,000	0	3,060,000	—	—
歳出合計	13,190,000	9,976,177	3,213,823	75.6	100.0
30年度	14,470,000	10,485,630	3,984,370	72.5	—
比較増減	△1,280,000	△509,453	△770,547	—	—
増減率	△8.8	△4.9	△19.3	—	—

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地の年度末現在高は、2,858,645.25㎡で、うち山林は2,833,323.79㎡で年度中の増減はありません。立木の推定蓄積量は、541㎡増加し、53,538㎡となっています。

出資による権利は、松本広域森林組合への出資金 248万円で、年度中の増減はありません。

### (2) 債権

きのこ採取権売払いによる債権（未調定債権）は2件あり、令和元年度から3年間の契約による36万3,000円のうち12万1,000円が令和元年度収入として減少し、年度末現在額は24万2,000円となっているものと、平成29年度から3年間の契約による18万円のうち6万円が令和元年度収入として減少し、年度末現在額は0円となっているものです。

### (3) 基金

財政調整積立基金の年度末現在高は、1億3,504万7,882円で、前年度より65万3,346円増加しています。

## 3 監査委員の意見

本財産区は、土地貸付収入等の財産収入の割合が高く、財政運営は、比較的安定しています。

地域住民が四季を通じて森林に触れ、その大切さを理解できる「森林体験事業」などの活動が積極的に行われていることは、財産区への理解と関心を深めることに繋がっており、今後も継続して取り組むよう期待しています。

また、引き続き、ペイオフ対策を考慮した資金運用を継続するとともに、償還となる資金についての債券運用等、確実かつ効果的な運用方法を検討してください。